【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公開番号】特開2007-229419(P2007-229419A)
【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-035
【出願番号】特願2006-92260(P2006-92260)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｂ　21/04　(2006.01)
Ａ６３Ｂ　23/04　(2006.01)
Ａ６１Ｈ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｂ　21/04
Ａ６３Ｂ　23/04　Ｚ
Ａ６１Ｈ　1/02　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも足置き部材と、伸縮機能を有する部材を基として形成された伸縮部とで構成されており、足置き部材には足を乗せる足置き部と伸縮部を直接又は間接に取り付ける伸縮部取り付け部と伸縮の運動方向を変換する方向変換部が形成されている。伸縮部は、少なくとも伸縮機能を自体が有する又は付加した、柔軟性を有する線状又は紐状又は帯状又は縄状又は鎖状又はその他の形状の、或る長さを有する引き張り部材を有している。更に引き張り部材から先には足を掛ける足掛け部が形成されている。足置き部材に形成された方向変換部は使用する状態で、横又は／及び上下いずれかの斜め方向に伸長した、或る長さの面を有する部材で形成されていることを特徴とする筋肉トレーニング器。
【請求項２】
足置き部材を板状の部材で形成したことを特徴とする請求項１に記載の筋肉トレーニング器。
【請求項３】
引き張り部材を足置き部材の裏側に配置したことを特徴とする請求項１～２のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
【請求項４】
方向変換部に回転ローラーを取り付けたことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
【請求項５】
引き張り部材に環状の足掛け部を形成したことを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
【請求項６】
引き張り部材に引き張り部材とは別の部材で足掛け部を形成したことを特徴とする請求項１～５のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
【請求項７】

引き張り部材がゴム材で形成されていることを特徴とする請求項１～６のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
【請求項８】
伸縮機能を有しない引き張り部材の伸縮部取り付け部側にバネ力を有するゼンマイ状のコイルを取り付けて伸縮部を構成したことを特徴とする請求項１～７のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
上記課題を解決する為、本発明は次ぎの如き筋肉トレーニング器を提供する。
１、少なくとも足置き部材と、伸縮機能を有する部材を基として形成された伸縮部とで構成されており、足置き部材には足を乗せる足置き部と伸縮部を直接又は間接に取り付ける伸縮部材取り付け部と伸縮の運動方向を変換する方向変換部が形成されている。伸縮部は、少なくとも伸縮機能を自体が有する又は付加した、柔軟性を有する線状又は紐状又は帯状又は縄状又は鎖状又はその他の形状の、或る長さを有する引き張り部材を有している。更に引き張り部材から先には足を掛ける足掛け部が形成されている。足置き部材に形成された方向変換部は使用する状態で、横又は／及び上下いずれかの斜め方向に伸長した、或る長さの面を有する部材で形成されていることを特徴とする筋肉トレーニング器。
２、足置き部材を板状の部材で形成したことを特徴とする上記第１項に記載の筋肉トレーニング器。
３、引き張り部材を足置き部材の裏側に配置したことを特徴とする上記第１～２項のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
４、方向変換部に回転ローラーを取り付けたことを特徴とする上記第１～３項のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
５、引き張り部材に環状の足掛け部を形成したことを特徴とする上記第１～４項のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
６、引き張り部材に引き張り部材とは別の部材で足掛け部を形成したことを特徴とする上記第１～５項のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
７、引き張り部材がゴム材で形成されていることを特徴とする上記第１～６項のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。
８、伸縮機能を有しない引き張り部材の伸縮部取り付け部側にバネ力を有するゼンマイ状のコイルを取り付けて伸縮部を構成したことを特徴とする上記第１～７のいずれかに記載の筋肉トレーニング器。